

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	非寛解期急性白血病における同種移植の成績：KSGCT 多施設共同研究
	研究目的	非寛解期急性白血病の同種移植成績は一般的に不良である。しかしながら、その実態は多様であり、予後因子も確立されていない。つまり、非寛解根拠、移植前処置のマネージメント、腫瘍特性は不均一であり、主治医や施設によって大きな偏りが生じる。そこで、本研究では、関東造血幹細胞移植共同研究グループ(KSGCT)による多施設共同後方視的研究として、症例調査票および登録データを用いて非寛解急性白血病症例の同種移植の解析を行う。非寛解期急性白血病の実態を明らかにするとともに、予後因子を含む移植成績を解析することを目的とする。本邦における大規模コホートによる非寛解急性白血病移植の実態および予後因子が明らかになることが期待され、治療戦略や予後予測に有用となり、さらには治療成績の改善につながる可能性も期待される。
	研究期間	2016年6月30日から2021年6月30日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	研究責任者	金森平和
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	血液内科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	自治医科大学付属病院(神田善伸) 慶応義塾大学病院(岡本真一郎) 都立駒込病院(大橋一輝)